

🍀 今、あなたに贈りたい 🍀

# 漢字 コンテスト

2017年度  
受賞作品集



公益財団法人 日本漢字能力検定協会



# 大切なあなたへ

「たった一文字」のプレゼント

## 「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」とは

家族や恋人、友人や恩人、そして自分自身にあてて…  
日頃は言えない素直な気持ちを、漢字一字に託して贈ってみよう。

(公財)日本漢字能力検定協会では、このような趣旨で「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」を2013年に初めて開催しました。以来毎年開催を経て今回で5回目を迎え、累計では16万5千作品あまりのご応募を全国よりいただいています。

＼ 詳しくは WEB でもご覧になれます! ／

あなたに贈りたい漢字

検索



## 審査員

### 審査員長

橋本五郎（読売新聞特別編集委員）

### 審査員

ゴロゴ松本（お笑い芸人）

やすみりえ（川柳作家）

華雪（書家）

高坂節三（公益財団法人日本漢字能力検定協会 代表理事）

※所属はコンテスト開催当時のものです。



## 発行にあたり

当協会は、「漢字検定」をはじめとする検定事業のほか、日本語や漢字の教育に関する研究支援、また、講演会や啓発イベントの開催、毎年の年末に清水寺で行う「今年の漢字」の発表など、さまざまな事業活動を行っております。

また、「漢字博物館・図書館」(漢字ミュージアム)を2016年6月にオープンしましたが、開館2周年を前に全国から20万人を超えるお客様にご来館いただいています。

私たちはこれからも、日本語・漢字を学ぶ楽しさを提供し、豊かな社会の

実現に貢献するための事業に取り組んでまいります。

さて、本コンテストもおかげさまで5回目を迎え、今回では28,688作品、過去からの累計では、165,000作品あまりの応募が全国から寄せられています。多くの方々から本コンテストの趣旨に賛同いただいていることをうれしく思っております。

今回の応募作品はどれも、大変素晴らしい、審査においてとても悩みましたが、特に優秀と認められた20作品を表彰させていただくことになりました

た。この作品集には、これら表彰作品のほか佳作40作品を加えた計60作品の大変印象深く素敵な作品を掲載しています。

2018年度も第6回として本コンテストを継続いたします。作品集を手にとられた皆様におかれましても、ぜひ周囲の方々に「相手を想って漢字一字を贈る」ことの素晴らしさをお伝えいただくとともに、本コンテストにご参加いただければ、これ以上の喜びはありません。

当協会は引き続き、漢字文化の素晴らしさをより深く感じていただけるよう事業運営に努めてまいりますので、今後ともご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人日本漢字能力検定協会  
代表理事 高坂 節三

5年前から「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」の審査をしていて、いつも思い浮かぶ言葉があります。それは「希望」です。2017年も嫌なニュースが随分ありました。でも、皆さん

背後には言い尽くせぬ辛い日々があるかもしれないからです。どうか選に漏れた皆さんにお詫びするとともに、入選者とは僅差だったことをお伝えしたいと思います。

んが選んだ漢字一字を見れば吹き飛びます。今回も多かったのは、「感謝」の「感」と「謝」であり、「笑顔」の「笑」であり、人に「優しく」ありたいという「優」でした。いつものことですが、順位をつけるのは至難のことであり、不遜ではないかと思われてなりません。なぜなら、皆さんが選ばれた一字の

審査員長 橋本五郎

(読売新聞特別編集委員)

## 小学生の受賞者

## 【絆大賞】

鈴木 仁心さん…………… P12  
東京都・町田市立小川小学校 10歳

吉澤 明宏さん…………… P14  
埼玉県・自然学園 8歳

## 【佳作】

神山 樟翔さん…………… P16  
栃木県・鹿沼市立西小学校 8歳

長嶋 柚奈さん…………… P16  
静岡県・沼津市立第四小学校 12歳

松岡 蒼真さん…………… P16  
三重県・松阪市立射和小学校 9歳

矢島 拳心さん…………… P17  
岐阜県・関市立安桜小学校 11歳

# 中学生・高校生の受賞者

## 【絆大賞】

青木公香 さん…………… P20  
(岐阜県・県立岐阜総合学園高等学校 17歳)

## 【日本漢字能力検定協会賞】

清水彩鼓 さん…………… P22  
(愛知県・デンソー工業学園 17歳)

中里達也 さん…………… P24  
(青森県・八戸市立島守中学校 14歳)

## 【審査員賞】

宇都宮溪吾 さん…………… P26  
(大阪府・柏原市立柏原中学校 15歳)

柴田真伊 さん…………… P28  
(大阪府・府立港南造形高等学校 16歳)

高田朱夏 さん…………… P30  
(鹿児島県・鹿児島市立鴨池中学校 14歳)

永井沙彩 さん…………… P32  
(大阪府・大阪教育大学附属高等学校池田校舎 17歳)

山川くるり さん…………… P34  
(福岡県・那珂川町立那珂川南中学校 15歳)

渡邊稜也 さん…………… P36  
(群馬県・県立中央中等教育学校 17歳)

## 【佳作】

青山瑠菜 さん…………… P38  
(愛知県・小牧市立北里中学校 12歳)

石川夏子 さん…………… P38  
(東京都・女子美術大学付属中学校 15歳)

漆畑渚都美 さん…………… P38  
(静岡県・静岡市立清水第八中学校 12歳)

木下惟理 さん…………… P39  
(大阪府・府立港南造形高等学校 18歳)

小池由記 さん…………… P39  
(大阪府・大阪教育大学附属高等学校池田校舎 17歳)

佐藤優樹 さん…………… P39  
(山梨県・富士学苑高等学校 17歳)

佐野美音 さん…………… P40  
(静岡県・三島市立錦田中学校 14歳)

白柿咲羽 さん…………… P40  
(鹿児島県・学校法人日章学園鹿児島育英館中学校 13歳)

田岡大和 さん…………… P40  
(京都府・京都市立蜂ヶ岡中学校 14歳)

戸田涼子 さん…………… P41  
(大阪府・府立港南造形高等学校 16歳)

長谷川充生 さん…………… P41  
(東京都・武蔵野中学校 13歳)

幡上陸 さん…………… P41  
(北海道・駒澤大学附属苫小牧高等学校 16歳)

林田真也 さん…………… P42  
(福岡県・宇美町立宇美南中学校 13歳)

東口修樹 さん…………… P42  
(大阪府・柏原市立柏原中学校 14歳)

日野詩音 さん…………… P42  
(大阪府・大阪教育大学附属高等学校池田校舎 17歳)

平澤泰造 さん…………… P43  
(静岡県・静岡市立清水興津中学校 12歳)

福田健 さん…………… P43  
(東京都・武蔵野高等学校 16歳)

山口華澄 さん…………… P43  
(神奈川県・県立横浜清陵高等学校 18歳)

# 大学生・一般の受賞者

## 【絆大賞】

岩崎達也さん……………P46  
(福岡県・会社員)

## 【日本漢字能力検定協会賞】

榎田育代さん……………P48  
(鹿児島県・公務員)

山田幸夫さん……………P50  
(大阪府)

## 【審査員賞】

打浪道代さん……………P52  
(大阪府・主婦)

大角輝代さん……………P54  
(大阪府・教員)

久保田洋二さん……………P56  
(茨城県)

小林憲彦さん……………P58  
(京都府・会社員)

椿幸枝さん……………P60  
(山口県・学校司書)

羅皓潔さん……………P62  
(長崎県・長崎外国語大学)

## 【佳作】

浅野萌さん……………P64  
(埼玉県・会社員)

岩中幹夫さん……………P64  
(岡山県・公務員)

奥井一幾さん……………P64  
(兵庫県・研究者)

工藤純子さん……………P65  
(北海道・主婦)

小松崎有美さん……………P65  
(埼玉県・主婦)

椎野美香さん……………P65  
(神奈川県・主婦)

末吉浩子さん……………P66  
(京都府・主婦)

杉村佳帆里さん……………P66  
(静岡県・教員)

諏訪麻美さん……………P66  
(岡山県・主婦)

高野亜衣子さん……………P67  
(神奈川県・会社員)

武市善明さん……………P67  
(徳島県・公務員)

田島英和さん……………P67  
(東京都・教員)

龍田優さん……………P68  
(三重県・教員)

百々進祐さん……………P68  
(愛知県・教員)

中井朗さん……………P68  
(福岡県・教員)

西村美由さん……………P69  
(大阪府・栄養士)

村井庸佑さん……………P69  
(香川県・教員)

吉田和史さん……………P69  
(岐阜県・会社員)



小学生の受賞者

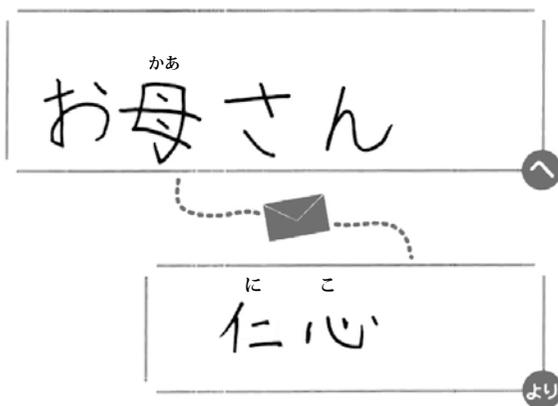
しょうがくせい

じゅしょうしや

すず き に こ  
鈴 木 仁 心 さん

とうきょう と まち だ し り つ お が わ し ょ う が っ こ う さい  
(東京 都 ・ 町 田 市 立 小 川 小 学 校 10 歳)

かんじ お  
この漢字をあなたに贈ります。



わたし うん どう かい じゅ ぎょうさん かん ひ お あと まんてん  
私は運動会や、授業参観の日が終わった後、満点オムライスをつく  
つく まんてん ほんとう とき  
作ってもらいます。でも満点オムライスは本当にかんぱった時にしか  
つく わたし かい つく  
作ってもらえないので私もまだ2回しか作っていません。なの  
まんてん つく こんど じゅ ぎょうさんかん はつ  
で満点オムライスを作ってもらえるように今度の授業参観でいい発  
げん まんてん つく  
言をしてまた、満点オムライスを作ってもらいたいです。

## 受賞コメント

漢字コンテストの絆大賞を受賞することができて、まさか私を受賞するとは、夢にも思わなかったもので、とてもうれしいです。今回、絆大賞を頂いて、3度目の満点オムライスを作ってもらえました。ありがとうございます！大切な人との一文字を選ぶ時、まず満点オムライスの事が思い浮かび、お母さんとの絆を「満」という字に込めました。満点オムライスは、みんなにとつては、ただのオムライスかもしれないけど、私にとつては、めつたに食べられないごちそうです。これから満点オムライスを作ってもらえるように、がんばりたいです。

## 審査員からのコメント

お母さん、「満点オムライス」とは何と良いアイデアなんでしょう。そのオムライスにはさまざまな味、思いが込められているに違いありません。何よりも買ったものではなく、お母さんの手作りなのがいいですね。そして「満点」とはどうもテストの点数ではないようです。だから娘さんは、今度の授業参観では「いい発言」をしようど心に決めているのです。ここには教育とは何かについて、もつとも大切なものがあるような気がします。お母さんが腕よりかけたオムライスを私も食べたくなりました。（橋本五郎）

よし さわ あき ひろ  
吉 澤 明 宏 さん

さいたまけん しぜんがくえん さい  
(埼玉県・自然学園 8歳)

20さいのぼく

8さいのぼく

この漢字をあなたに贈ります。



8さいのぼくは、おとなにな、たうはこぶしごしをしたいと  
思おもいます。コーラやおレシジュースを、トラックにのこひとしな  
にはこびます。おもいぼうが、ガリが、いいが、ありえうだから、  
おもいもちたいです。あ、え、って、きょうりよくかすれは、が、るきが、で、ます。  
あ、せ、を、か、い、て、せ、休、ま、ず、に、か、ん、は、ら、う、ね。  
やす

## 受賞コメント

しょうをもらったと聞いて、とてもすぐうれしくなりました。

「運」という字はならったばかりのかん字でした。まだうまく書けなかつたのでお手本を見ながら書きました。

今のぼくは、お手つだいでのみものやダンボールを運んでいます。のみものは、そこから自じどうはんばいきに運びます。そうこののみものは市場から買ってくるそうです。市場に来る前はどこにあったのかは、おじいちゃんは大ぶん知っているけれどぼくは知りません。ぼくもおとなになつたらわかるようになりたいなと思います。それに自分でも車を運んでんできるようになりたいです。今日もたのまれたお手つだいをがんばります。

## 審査員からのコメント

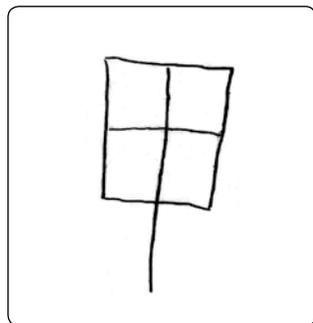
吉澤さんの「おとなになつたらはごぶしごとをしたいと思ひます」という一節がとても深く印象に残りました。

「運」の字のなりたちは、大昔の中国で將軍の車の上旗がたなびく様子を表す「軍」と道をあらわす「しん」のように「が組み合わさることで、できあがりました。將軍の車の旗がすべてを指揮していたのです。運ぶということ、大昔の中国では、ただものを運ぶだけでなく、さまざまなことを指揮する役割でもありました。

吉澤さんは、きつとこの先、重いものを持って、みんなと協力し、いろんなことに思ひがめぐるすてきな「はごぶし」と「はごぶし」になられるだろうと思ひます。これからこの「運」という字を傍らにいろんなことをがんばってください。

(華雪)

神山 樟翔さん  
(栃木県・鹿沼市立西小学校 8歳)



【贈りたい相手】  
 高校3年生の親友  
 【贈り主】  
 樟翔

年がじように「甲子園に、つれて行ってね!」と、  
 かいたら「まかしとけ!」とへんじが、きました。  
 やくそく通り甲子園に出場し、ぼくもおうえんに  
 行きました。とてもかっこよかったです。

長嶋 柚奈さん  
(静岡県・沼津市立第四小学校 12歳)



【贈りたい相手】  
 前世の自分  
 【贈り主】  
 今の自分

あなたは、何時代にいましたか。  
 何の生き物でしたか。  
 なんとという国に住んでいましたか。  
 私は、何も覚えていないけれど、  
 また、この世に生まれてこれてよかったです。

松岡 蒼真さん  
(三重県・松阪市立射和小学校 9歳)



【贈りたい相手】  
 親友の君  
 【贈り主】  
 そうま

夏の暑い日、君といっしょにすいかわりをした  
 後、二人でこっそり植えたすいかの種。もう子葉  
 と葉がたくさん生えてきて大きくなってきたね。  
 早く育つといいなと思って水やりもしたね。育つ  
 たらまたいっしょにすいかを食べようね。そして  
 またスイカの種をいっしょに植えたいな。いつも  
 ありがとう。そしてこれからもずっと親友でいよ  
 うね。



【贈りたい相手】  
おやまゆ  
親麻友

【贈りたい】  
けんしん  
子拳心

矢島

拳心

さん

(岐阜県・関市立安桜小学校 11歳)

鏡を、毎日見っていますが、あまり変わりませ  
ん。そのままが一番美しいから、もう化しようし  
ないでください。



中学生・高校生の受賞者

# 青木 公香 さん

(岐阜県・県立岐阜総合学園高等学校 17歳)

うっちゃん



わたし

この漢字をあなたに贈ります。

目

中学の頃のわたしは人付き合いがうまくできず、人と接するのが少し怖かった。そこに、うっちゃんが「目合わせるの怖い？でも合わせてくれないとさみしいよ」と声をかけてくれた。当然のことだけど、遠慮せず優しくそう言ってもらえて、とても嬉しかった。うっちゃんの一言で私の苦手意識が和らいだよ。別々の高校になったけど、次あったら目を合わせて「ありがとう」と言わせてね。

## 受賞コメント

この度は、絆大賞という大きな賞をいただけて大変うれしく思います。このコンテストを通じて、友人であり恩人でもあるうっちゃんとの思い出に改めて感謝をすることができました。この思い出は今でもずっと大切な思い出です。

私はあまり強い人間ではないため、これまで多くの人の支えのおかげで様々な壁を乗り越えてきました。また、これからも多くの人に助けられると思います。そういった人たちに感謝をしながら、私も支えることのできる人間に成長していきたいと、このコンテストを終えて感じることができました。

最後になりますが、このような賞をいただけて大変光栄に思います。

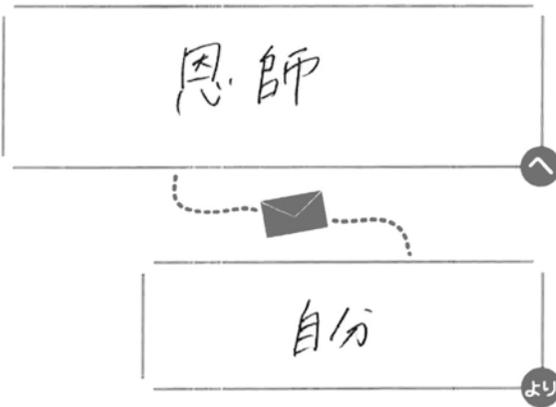
## 審査員からのコメント

祝！大賞おめでとうございます。人が生きていく中で「目」からたくさん景色が飛び込んできます。色や情報、人の姿、良いこと、嫌なこと、目に焼き付きます。

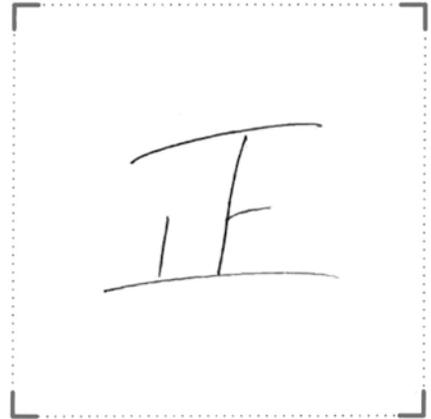
そして、内なる心も目を通して外に現れます。「目」は口ほどにモノを言う。目にはその時の心模様が正直に出るんですね。あの日のうっちゃんが「目を合わせるの怖い？でも合わせてくれないとさみしいよ」と優しく声をかけてくれた事が、一人の少女の「心の目」を開かせてくれたんですね。優しさには、何かを変える「力」があることを改めて感じました。「目を澄ます」「目を覚ます」「目を肥やす」「目が合う」。二人の姿が目に見えます。命（ゴルゴ松本）

# 清水 彩鼓 さん

(愛知県・デンソー工業学園 17歳)



この漢字をあなたに贈ります。



何が正しくて、何が正しくないかを悩んでいた。

中学の頃、当時の担任に、「正」という字は、一旦止まると書く。悩んだ時は、一旦止まって、ゆっくり考えて、正しいものを見つけると良い」と言われたのが印象的だった。

## 受賞コメント

この度はこのような素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思います。

私は中学三年生の頃、進路について悩んでいました。工業系の企業内訓練校に進学して、金属加工の技能を極めるのか、農業高校に進学して、将来バイオテクノロジーの研究に携わるのか。結論を下すことが出来ず、周りの事も手につかない日々を過ごしていました。

そんな私を見かねたクラス担任の先生が、この言葉で励まして下さいました。

そして、私は現在、株式会社デンソーの訓練校で自動車部品製造に関わる技能習得に努めると同時に、社会人として必要な知識を学び、充実した日々を送っています。

これからの人生でも、迷った時には恩師の教えて下さった「正」の意味を思い出し、自分が正しいと思う道を進んでいきたいと思っています。

## 審査員からのコメント

多感な中学時代。何が正しく、何が正しくないか、悩むことも多かったことと思います。先を急ぎ勝気な君への適切な指導、「正という字は、一、旦、止、まると書く。悩んだ時は、一旦止まってゆっくり考え、正しいものを見つけると良い。」素晴らしい先生の指導、いつまでもこの言葉を大事にして、焦らず一歩一歩進んでください。

(高坂節三)

中里 達也 さん

(青森県・八戸市立島守中学校 14歳)

小学6年の自分



中学2年の自分

この漢字をあなたに贈ります。

勉力

小学6年の自分 なじみ 君は勉 励 強 しいの  
 だ。 君が勉 励 強 しいから 中学の勉 励 強 しいが  
 分 かり たい けど、た じや ないか。何 して こと を  
 して くれた。君は、今 から ずい ぶん 勉 励 強 しい  
 人 だ。 あと 先生 の 言 っ た こと を 聞 いて たい。

## 受賞コメント

まず、僕がこのすばらしい賞をとれたことをとても喜ばしいと思いました。また、僕と同じようなことを考えている人たちに少し勇気をあたえられたのかと思うと、このコンテストに応募して良かったと思いました。

僕は親にも姉にも勉強しないとだめだよとよく言われ、自分でも嫌になっていました。でも、このようならばらしい賞をとり、自分を改めていきたいと強く思いました。勉強ができなかった自分からこそ賞をとれたので、今度は勉強ができる自分になり、賞をとりたいと思いました。

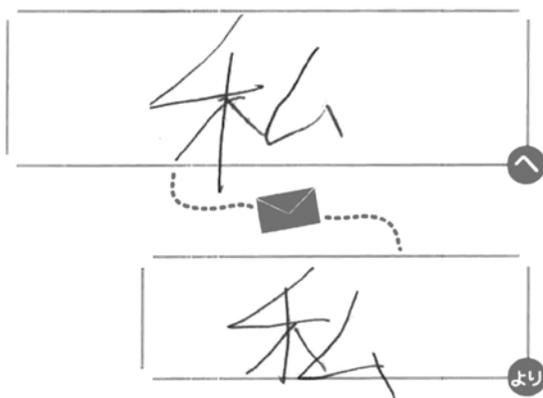
## 審査員からのコメント

中学生になった今、小学生時代の自分を振り返って、勉強しなかったことを悔いるとともに、「今からすぐに勉強しなさい。先生の言うことを聞きなさい。」の忠言。自らを振り返る「反省」も長い人生において必要なことです。「今からでも遅い」ということはありません。

(高坂節三)

宇都宮 溪吾さん

(大阪府・柏原市立柏原中学校 15歳)



この漢字をあなたに贈ります。



負という漢字は負けてしまったなど  
 悪いことではない、時に使いますか、それがま  
 かけに、誇負、自負、物負など良い意味  
 を持ちます。自分の負、かこれから歩み、かけに  
 なるかもしれません。

## 受賞コメント

この度は、審査員賞を受賞することができ大変嬉しく思います。

僕はバドミントン部に所属し、一年生の頃から何度も試合に出ました。でも最初の方に先輩と試合してもなかなか勝てずに負けることも多く、そのときの思いをこの漢字で表しました。誰もが負けることがあり、悔しい思いをしていると思います。しかし「負」という漢字はマインスの意味の漢字ではなく、たくさんのよい意味もあります。だからこそ頑張ってこれたんだと思います。これからも先いろいろな事があり、時には負けることもあると思いますが、「頑張ろう」と思います。

## 審査員からのコメント

宇都宮さんは、現在勝ち負けといった意味合いが通用している「負」の字を、改めて深く考えることで肯定的な側面を見つけたのですね。「負」の漢字の成り立ちを調べると、人が貝を背負うかたちを象っているとあります。古代中国の社会では貝は貴重品でした。そうした貝を背負うということは、荷物を負い担ぐだけでなく、貴重品を運ぶということから責任を引き受けるという意味へ展開していきました。宇都宮さんの気づかれた「負」の字の奥にあるものを、これからどんなふうに取り組んでいくのかを見定め、ぜひこれからも一歩一歩、ゆっくと歩んでください。(華雪)

柴田 真伊さん

(大阪府・府立港南造形高等学校 16歳)

おばあちゃん

孫

この漢字をあなたに贈ります。

朝月

台所に立つおばあちゃんの後ろ姿と「トントントン」と規則正しい包丁の音で目覚める朝が、私にとって好きです。いつもは慌ただしく起きて、朝食も適当に済ませてしまいます。だから、夏休みにおばあちゃんの家で迎える朝に、少しだけ甘えたいくなります。いつもありがとう、おばあちゃん。

## 受賞コメント

この度は審査員賞という素晴らしい賞を頂けて大変光栄です。ありがとうございます。

私は【朝】という字を選びました。機械の目覚ましの音ではなく、おばあちゃんが朝食を作る際の包丁のリズムで目が覚める朝は私にはとても心地良いものでした。

一人暮らしの祖母はとても元気で今も毎朝台所に立ち続けていますが、私が大人になるにつれて会える機会が少なくなってきました。なので、次に帰省する時は頑張っておばあちゃんより早く起きて、私がおばあちゃんにあの朝を贈りたいと思います。

## 審査員からのコメント

私にはある情景がはつきりと浮かびます。白いかつぼう着姿で一心不乱に包丁を使っているおばあさん。すぐそばではご飯がまもなく炊きあがるうとしています。みそ汁のにおいもしてきます。シヤケの焼ける音もかすかですが、聞こえてきます。それはまた私の母の姿でもあります。おばあさんの朝ごはんには、どうか明るく、すくすくと育ってほしいという願いが込められているように思います。そのおばあさんの気持ちはお孫さんにしっかりと伝わっていると感じました。(橋本五郎)

# 高田 朱夏さん

(鹿児島県・鹿児島市立鴨池中学校 14歳)

友達の〇〇



高田 朱夏

この漢字をあなたに贈ります。



雨の日、「傘、忘れた!!」と私の傘に入る〇〇。逆に、

私が忘れたときは「おいだよ。」と入れてくれる。相合傘を

してると、2人とも体の半分がぬれてしまう。でも、私はイヤ

じゃない。いつもより近くで話すこの時が、ちょっぴり楽しか  
ったりもする…かもしれない。

## 受賞コメント

このたびは、素晴らしい賞をありがとうございます。まさかこんな賞を頂けるとは思いもしませんでした。喜びで胸がいっぱいです。

私が漢字一文字を贈る相手を考えているとき、自然と頭に浮かんできた光景がありました。背の高い彼女に合わせ、いつもより傘の高さをあげる私。傘を持ってくればようとする彼女。そんな雨の日の光景です。傘の下、一緒に話せることは幸せだと思い、「太陽」のような彼女に、あえて「傘」という字を贈りました。

このたび、賞を頂けたことで雨の日が一段と好きになれそうです。

本当にありがとうございます。

## 審査員からのコメント

「傘」の字は、人屋根、人頭の中に四人の人がいます。昔の傘はたくさんの人を守ってくれたのではと思いたくなる漢字ですね。「傘忘れた!」「おいでよ!」友達と相合い傘。ちよつぴり楽しかったり。雨が降るからこそその傘。雨にもありますがそうですね。雨が降るからこともあります。人生の中で傘を差したり、差されたり、誰かが困っていたら「どうぞ!」と傘を差し出せる人々がいっぱい星になることを祈ります。雨上がりに素晴らしい虹がかかるでしょう。命(ゴルゴ松本)

永井 沙彩さん

(大阪府・大阪教育大学附属高等学校池田校舎 17歳)

弱い自分

沙彩

この漢字をあなたに贈ります。

届

「ぼそぼそ喋るから何言ってるかわからない。」と母に言われます。小さい頃から内気で、1対1で話すのはいまだに苦手です。だけど相手に届けなければ”思いは伝わりません。聞き返してくれるのは、考えを知りたいと思っていてくれるからこそ。だからもっと自信を持とう。届けよう、その思いに応えるためにも。

## 受賞コメント

この度は審査員賞を頂きありがとうございます。言葉を通してたくさんの人に思いを届けられたことを嬉しく思います。

今年私は受験生になります。自分は何がしたいのか、何を目指すのか、大人になるにつれ自分で決めるべきことが大きくなっていきます。助けを借りるにしても、自分で突き進むにしても、自分の思いを伝えることで人を納得させていかなければなりません。これから先のその勇氣が出ない時には、この「届」という漢字を書いた時の前向きな気持ちを出して進んでいきたいです。自分の思いに自信を持てるようになりたい、堂々と語れるようになりたい、そして将来は「言葉」で人と繋がる仕事をしたいと思います。

## 審査員からのコメント

「届」の漢字を字典で調べると、その成り立ちは古代中国の葬礼の儀式に遡ります。日本語としての漢字「届」はひとつの点から他のひとつの点に至る、到着するという意味で用いられています。つまり、中国語としての「届」からは人が祈る姿が、日本語としての「届」からは放たれた矢が目的地に到達するような印象が、それぞれから伝わります。人は祈るとき、自分の思いに自信があるからこそ、まっすぐに祈ることができるような気がします。また矢を放つ時、目的地をはっきり思い描いていなければ、思わぬところに落ちてしまうかもしれません。永井さんが、今回たどり着いた「届」。ここからまた、たくさんの人にその思いを伝えていってください。(華雪)

山川 くるりさん

(福岡県・那珂川町立那珂川南中学校 15歳)

愛する母

私

この漢字をあなたに贈ります。

相

私は貴方の何だと思えますか。貴方が昔、「くっちゃんは私の娘だけど、人生で一番の相棒でもあるんだよ」と言ったのを私は今でも覚えています。それから私は貴方の『相』棒で、『相』愛し、私へのたくさんの愛を『相』承していく存在になりました。親子という関係性に縛られない貴方の考え方が大好きです。私に変わらない居場所をくれてありがとう。私にとっても、貴方が人生で一番の『相』棒です。

## 受賞コメント

この度は「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」にて家族部門の審査員賞をいただき、本当にありがとうございます。

偶然見つけて何気なく書いたものでしたが、賞をとることで母にも見てもらう機会ができました。

親子の形が型にはまらず、少し変わった形をしている私たちですが、大切なことはお互いの信頼と幸せだという考えをもとに、これからも母娘楽しく生きていきます。

なかなか理解されにくい関係性を素直に書いたもので賞をいただけたのはとても嬉しく、誇らしいことだと感じています。

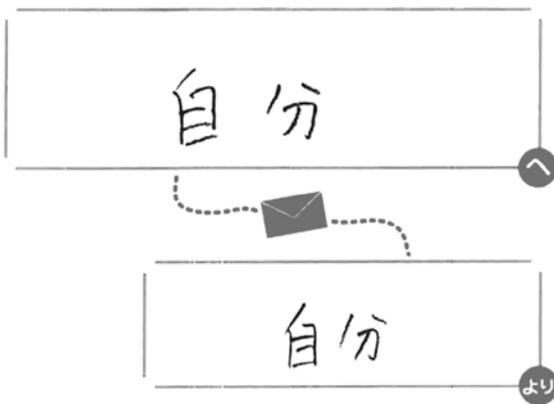
つたない文章でしたが、評価して下さい、ありがとうございます。

## 審査員からのコメント

「母子」というよりは「姉妹」「同志」という感じですね。おそらくお母さんには、あなたを保護する対象としてではなく、一人の人間として接することで独立心を養ってほしいという希望と、自分も一緒に成長しようという強い意志のようなものがあるのでしょう。親子にはさまざまな姿があり得ると思います。一番大切なことは、母の思いが無理なく子に伝わり、子は母の気持ちをも十分にくみ取りながら、自ら信じる道を歩むことだと思います。その姿がここにはあります。（橋本五郎）

# 渡邊 稜也 さん

(群馬県・県立中央中等教育学校 17歳)



かんじ この漢字をあなたに贈ります。おく



あなたは今までずっと野球を続けてきて最終的には8年間続けました。  
 そのときに一番大事にしていたのは「凡事徹底」という精神でした。誰もできることを  
 誰もできないくらい練習してきました。これから受験勉強がきつい時期になって  
 きますが、どんな問題でもたくさん量をこなして自分のものにしていくください。

## 受賞コメント

私は高校3年間、野球部に所属していました。そこで顧問の先生がよくおっしゃっていた言葉が「凡事徹底」です。今回はこの言葉の一字を選びました。この言葉は社会のあらゆる組織やチームのモットーとなることはしばしばありますが、先生からいただいたその言葉は野球をやっていた自分に強く響きました。野球が終わってからは受験勉強に入りましたが、その期間中もその言葉の精神を常に持ち続け、一つ一つの問題を丁寧に解き自分のものにしていく努力をしました。これからも、何事にも「凡事徹底」の精神で取り組んでいければよいと思います。

## 審査員からのコメント

「凡」の漢字の成り立ちは、平たくて大きな器である「盤」のかたがもとになっていると字典にはあります。いまでこそ、「並の」という意味合いで用いられる字ですが、古代中国では「すべて」という意味で用いられていました。渡邊さんが8年間、野球を続ける中で大切にされていた『凡事徹底』ということばの「凡」もまた、こうした字の成り立ちを知ると、「誰でもできること」という意味合いばかりではないのかもしれない。これからは受験勉強の時期に入られるとのこと。「凡」の字とともに歩んでこられた渡邊さんだからこそ、ここからまたこの字の意味合いを深く知り、ますます豊かな時間を過ごしていただけたらと願っています。

(華雪)

青山 瑠菜さん

(愛知県・小牧市立北里中学校 12歳)



【贈りたい相手】

中学3年生の私

【贈り主】

中学1年生の私

中学3年生の私に「麦」という漢字を贈ります。私は麦のように、何度踏まれても、くじけずに前を向ける人になりたいです。3年生では、受験があります。勉強ばかりでいやになったり、不安でくじけそうになったりすることがあると思うけど、麦のように前を向いて強い意志をもって、一生懸命取り組んでほしいです。踏まれても踏まれてもへこたれない「心」を作られるように、今の私から頑張ります。

石川 夏子さん

(東京都・女子美術大学付属中学校 15歳)



【贈りたい相手】

お父さん

【贈り主】

夏子

いつからなのだろう。自然と慣れてしまったこの習慣。週1で必ず口にする、「気晴らしに出かないか」という父の一言。そこから、なんだかさりげなく、「人生相談車」が動き出す。ただ車で出かけるだけのことにすぎないのだが、私にとつてその空間がいちばん素直な気持ちをぶつけ合っている気がするのだ。理由は特にない。しかし、この車でなければ、今日の出来事、将来のことは話せないだろう。お父さん、乗せてくれてありがとう。

漆畑 渚都美さん

(静岡県・静岡市立清水第八中学校 12歳)



【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

私

お母さんの怒る声はよく響きます。お母さんの笑った声やはげましの言葉は私の心によく響きます。お母さんのよく響く私への言葉に感謝してます。だからお母さんにこの言葉を贈ります。



【贈りたい相手】

お父さんとお兄ちゃん

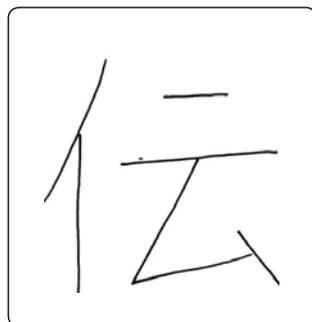
【贈り主】

家唯一の女

## 木下 惟理 さん

(大阪府・府立港南造形高等学校 18歳)

貴方達は、私に「食べた後は片付けろ」とか「掃除しろ」とか「料理して」と言いますが。(えらそうに) 貴方達もまっつたく出来てないですよ。人の振り見て我が振り直せ。



【贈りたい相手】

先生

【贈り主】

小池由記

## 小池 由記 さん

(大阪府・大阪教育大学附属高等学校池田校舎 17歳)

「準備もまともにできん奴は帰ってええ」「それで全力か」「もっとまわりを見ろ」厳しいことを言う中学のときの部活の顧問の先生と、それにいら立つ私。先生が求めていることが分からなかった。高校になった今、私は部長だ。「部活をつくるのはこんなに難しいのか」やっと思いが分かった。なぜ先生があんなに厳しいことを言っていたか。自分たちが最高の環境で部活ができ、部員を知り、チーム力を高めるためだったのだ。厳しさの裏に隠されていた私たちへの愛に気づいた。



【贈りたい相手】

父

【贈り主】

佐藤優樹

## 佐藤 優樹 さん

(山梨県・富士学苑高等学校 17歳)

私の父は土木系の企業に勤めている。普段は主に国道や県道等の図面を描いているらしい。父は毎日、誰かのために「道」を描き続けているのだ。また職業柄か、父は曲がったことが嫌いだ。私に誠実さや正義等人の「道」を教えてくれたのも父である。そしてそれが法律を学びたいという私の将来目指す「道」を示してくれた。父は今日もどこかで「道」を描く。誰かを導くために。

【贈りたい相手】

先輩

【贈り主】

美音

佐野 美音 さん

(静岡県・三島市立錦田中学校 14歳)

部活で負けているときでした。私がとても尊敬している先輩が勝負に向かうときでした。会場にいる全ての人が緊張している時でした。でも先輩は笑って「私が勝負をきめて勝ってくる」という顔で私に大きな背中を見せてくれました。私はその背中を忘れることはないと思います。

【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

私

白柿 咲羽 さん

(鹿児島県・学校法人日章学園 鹿児島音音英館中学校 13歳)

忙しいような音ばかり毎日のように聞こえる。毎日忙しそうにバタバタしている足音、ご飯を作る音、洗濯物を干している音、ふとんをたたき音、掃除機の音。大変そうな音しか聞こえない。たまには私に家事を任せて休んでね。たまには休んでいる音も聞いてみたい。お母さんが休んでいる音ってどんな音？

【贈りたい相手】

保育園のときの友達

【贈り主】

僕

田岡 大和 さん

(京都府・京都市立蜂ヶ岡中学校 14歳)

最後に会ったとき「忘れないでいようね」とお互いの名前がかかれた鈴を交換した。それから9年経った今でも鈴の音がすると、「君だ」と思ってしまう。それと同時に今君はどんなことをしているのか、どう変わったのか考えてしまう。君にまた会う日はいつになるのか。



【贈りたい相手】

今の自分

【贈り主】

昔の自分

## 戸田 涼子 さん

(大阪府・府立港南造形高等学校 16歳)

人に迷惑をかけるのがとても嫌いなあなた。惑うことをおびえてるあなた。あなたが思っているよりも周りは優しい人ばかりだったので、そのままぐるぐるふらふらしてみてください。あなたがそうやってよく惑ってくれたから、私は今の友人に会えました。



【贈りたい相手】

先生

【贈り主】

自分

## 長谷川 充生 さん

(東京都・武蔵野中学校 13歳)

勉強やつてもスポーツやつても全て中途半端な自分がとても悔しかった。そんな自分に自信をつけてくれた人がいました。それは、ぼくが小学6年生の時の担任の先生だった。その先生は自分が発表で間違った時「教室は間違う所だよ」と声をかけてくれました。失敗してもいいと思えるようになった今とても自信がきました。



【贈りたい相手】

母さん

【贈り主】

息子

## 幡上 陸 さん

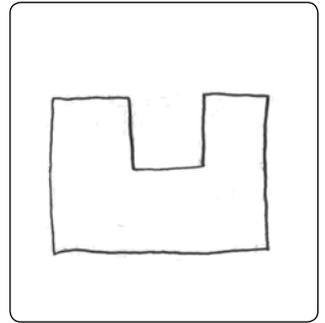
(北海道・駒澤大学附属苫小牧高等学校 16歳)

いつも好きなことをやらせてくれる母が初めて自分の好きなことを話しました。「今の仕事とは別に資格をとって図書館で働きたい。」その言葉に嬉しさがこみ上げてきました。夢に向かって走る母。それがとても好きです。頑張れ母さん。

林田 真也 さん

(福岡県・宇美町立宇美南中学校 13歳)

いま、部活で何度も衝突をくり返しています。でも凸凹をつなげるときれいな四角形になります。しかし、凸凸では四角になりません。なので2年生が柔軟に対応してチームを引っ張っていきたいです。



【贈りたい相手】

上田

【贈り主】

林田

東口 修樹 さん

(大阪府・柏原市立柏原中学校 14歳)

いつも他の人の意見に流されて、目立たないようにならうとする自分。他人の目を気にして社会的な「ツナガリ」を良くしようとするのは人間らしいけど、君はそこに存在していて、君の想いもそこに在るから、もっと堂々としていようよ。



【贈りたい相手】

自分自身に自信がない自分

【贈り主】

前向きな自分

日野 詩音 さん

(大阪府・大阪教育大学附属高等学校池田校舎 17歳)

今の私、迷ってください。精一杯悩んで頭をかかえてください。そして、選んでください。自分に向いている場所を、生きたい道を。難しいのだと思います。身近なことでは大学を決めることです。自分のやりたいこと、得意なことを考えてみましょう。何か浮かびましたか。ひらめくことはありましたか。簡単ではありませんね。人は一つや二つは良いところがあるそうです。だから悩んで腐るのではなく、貪欲に探してください。そして充実した日々が送れますように。

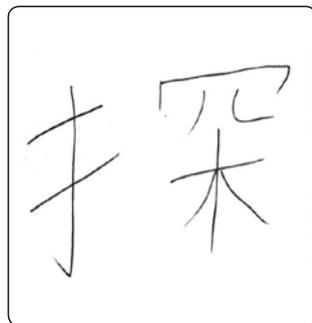


【贈りたい相手】

自分

【贈り主】

自分



【贈りたい相手】

未来の自分

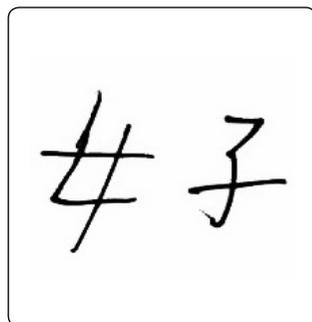
【贈り主】

今の自分

## 平澤 泰造 さん

(静岡県・静岡市立清水興津中学校 12歳)

僕はよく物をなくします。でも、無くなったわけではなく、ちゃんと探せばどこかにきっとあります。だから、無くしものも、今まだ決まらない将来の夢も、探して見つけてください。



【贈りたい相手】

私

【贈り主】

私

## 福田 健 さん

(東京都・武蔵野高等学校 16歳)

私は仮面ライダーが好きで、スーパー戦隊が好きで、プリキュアが好きで、他の高校生から見たら子供っぽいようなものが好きです。でも、他の人にどういわれても、嫌いにならないでほしいです。今好きなものが未来では嫌いになっていくのはとても悲しいです。だからいつになっても、好きな物は好きでいてください。



【贈りたい相手】

私の好きなあの人

【贈り主】

山口華澄

## 山口 華澄 さん

(神奈川県・県立横浜清陵高等学校 18歳)

私には好きな人がいますが、告白をしています。近年、メールで告白するのが主流の世の中で、自分の想いは、相手の目を見て「直接」伝えるのが一番いいと思っています。直接という意味の他にも、自分の気持ちに「正直」に、あなたに「一直線」というのも込めています。このコンテストをきっかけに、この漢字の意味の通りに、自分の想いを伝えたいと思います。



大学生・一般の受賞者

# 岩崎 達也 さん

(福岡県・会社員)

この漢字をあなたに贈ります。

妻(葉子)

夫(達也)

途

私が妻に贈る漢字は「途<sup>みち</sup>」です。それぞれに離婚や身内の介護を経験し、人生の折り返しを過ぎて出会い、

2年前に48歳で再婚した私達。途という漢字には「細くて険しい長い道のり」という意味があります。

又、一途<sup>いちず</sup>という使い方のように「ひたむき」という意味もあります。二人は、また長い「人生の途中」を歩んで

います。一途にお互いを思いやり、ひたむきに生き、共に途を七割開いていきたいという強い思いを込めました。

## 受賞コメント

この度は、第5回「今、あなたに贈りたい漢字コンテンツ」の絆大賞（夫婦・恋人部門）に選出頂き、誠にありがとうございます。

今回「途（みち）」という作品に込めた想いが、思いもよらず、このような賞を頂戴することになり、大変驚きました。と同時に、何か私たち夫婦のことを励まして頂いているようで、とても温かい気持ちになりました。

時の流れの中で、自分の前を通り過ぎていった方々や出来事。そして、妻との出逢いがなければ、この作品は生まれませんでした。

この先も、様々な事柄に出くわすことでしょう。そんな時には、この「途（みち）」という漢字の持つ意味に立ち戻り、力をもらって、妻と共に、一歩ずつ歩みを続けたいと思います。

## 審査員からのコメント

一人と一人が運命によって出逢った「途」。さまざまな人生の苦勞を味わったのちのお二人だからこそ、この漢字一文字の重みを感じることができなのでしょう。そして、みち、と声に出してみますと「未知」をイメージすることもできました。これもまた、おっしゃるように人生の折り返し地点からの「これから」を大切に進んでいきたいという思いと絶妙に重なります。手を携え、ひたすらに歩む途の先はきつときらきらと輝きに満ちていることでしょう。

（やすみりえ）

# 榎田 育代さん

(鹿児島県・公務員)

亡き父 (塚元 師郎)



娘 (榎田 育代)

この漢字をあなたに贈ります。

瓦

私と同じ年の実家の瓦のふき替をした。55年もの風雨に耐え、家を守り続けた瓦。大工だった父が、私を背負って建てたという家。瓦の下に「父の文字」を見つけた。「昭和37年4月18日上棟」。宝が美しく残っていた。この家全てが父の手によるもの。これらも私たちが守っていてくれたのかと、古ぼけた瓦一枚に感謝。そして「父の背の温かさ」を今も感じる。どうやら私も子どもたちの瓦にならねばならない。

## 受賞コメント

今回の受賞を機に再び父を想うことができました。ありがとうございます。父も「のさったが。」と喜んでくれていると思います。

父の名は「師郎」。私に様々な事を教えてくれた師である。大工として仕事に専念し、12年前に他界した。父の口癖は「よかたつが。」昔は「何がよかたつがよ。」と反抗していた私も、今では癖になり、悩む子どもたちを前に「よかたつが。」を伝えている。「大丈夫だよ。安心していいよ。私が味方だよ。」そんなことを意としているこの言葉に、私自身も何度も救われてきた。父の残してくれた瓦は今も「よかたつが。」と私を守っている。欲のない父の背中のように温かい。

「まこて、てねんしつもろた。感謝。」

## 審査員からのコメント

大工だったお父さん、私を背負って瓦葺をされたお父さん、上棟の日付もそつと瓦の下に書き込まれたお父さんの男の美学を知った育代さんの驚きとうれしさは、どれほどのものであつたでしょう。親子の絆を噛みしめ「とうちゃん。私も子どもたちの瓦になるう。」と、親子の繋がりを次の世代に受け継ぐ気持ち素直に書かれていて心を打たれました。(高坂節三)

山田 幸夫 さん

(大阪府)

この漢字をあなたに贈ります。

結婚して39年の妻



照れ屋の夫

アヤ  
綾

僕たち二人が出会った頃、きみのことを「中野さん」と呼び、特別な人になった時、「綾子さん」、そして「綾ちゃん」へと変わったよね。結婚してごく自然な流れで「綾」と呼びました。子どもが誕生して「お母さん」と呼ぶようになり、その子どもたちも独立して二人の生活に戻った今でも「お母さん」と呼んでいます。新婚当時のあの頃のように「綾」と呼んでみたいけれど照れます。だから、「綾」を文字にして贈ることにします。

## 受賞コメント

綾（あや）と、名を呼んだのは、結婚して子どもが誕生するまでの二年間ほどでした。その後は「お母さん」と呼び続けてほぼ三十五年。もう「お母さん」から卒業して、当時のように「綾」と呼んでみたいと思いがながら、しかし、呼んだとたんに、妻から、「何？それ」なんて言われそうで、歳月だけが過ぎて今に至っていません。

口に出せないで、文字「綾」に託し応募しました。受賞の知らせが届いた時、妻から、「何？その封筒。見せてよ」と迫られたのですが、「何も無いよ」と照れ笑いで誤魔化してしまう自分があります。

今後、名を呼べるようになるのか、まだ自信はないけれど、そのチャンスを頂いた審査員の方々にお礼申し上げます。

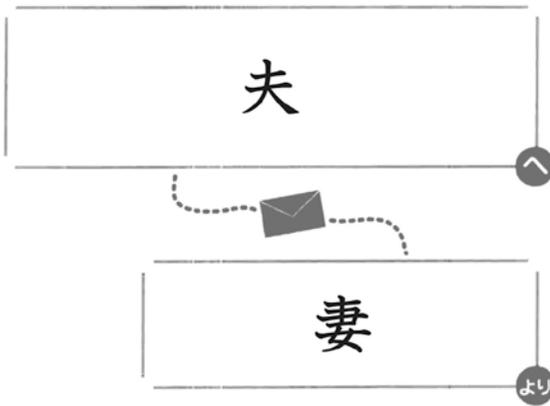
## 審査員からのコメント

「初めての出会い」。「恋人」から「夫婦」。そして「お父さん、お母さん」。子どもが独立して「二人の生活」に戻った今、お互いの呼び名が変わってきたことに思いを馳せ、新婚時代の呼び名に戻したい。すこし照れるという言葉に、改めて二人の素晴らしい人生の歩みが想像でき微笑ましく感じました。（高坂節三）

打浪 道代さん

(大阪府・主婦)

この漢字をあなたに贈ります。



年齢とともに髪が薄くなったあなた。特に頭頂部を気にしていますね。まるで河童みたいだと。でも、わたしは全然気にしてません。髪の毛があろうとなかろうと、あなたは48年わたしを大切にしてくれたかけがえのない旦那さま。元気のないあなたの頭のお皿にはいつも水を贈りましょう。そして元気を取り戻してください。

## 受賞コメント

思いがけない賞をいただき大変驚きました。日常の何気ない夫とのやりとりから、髪の毛が少なくなるにつれ夫がどこか元気を失っているように感じていました。間もなく金婚式を迎える私たち夫婦はもう立派な「老人」ですが、夫は頭頂部が薄くなるのを特に気にしているようで、河童みたいになるのはいやだなと常々口にしていました。

私にとつては、夫の髪の毛があらうとなかろうと、長年連れ添った生涯大切な人であることには変わりありません。そんな時にこのコンテストを目にし、万一入選したら元気をとり戻してくれるかも、と半ば遊び心で応募しました。入選の知らせを夫も大変喜んでくれ、「いっそ、丸坊主にするか」と言っていますが、どうなりますやら・・・。

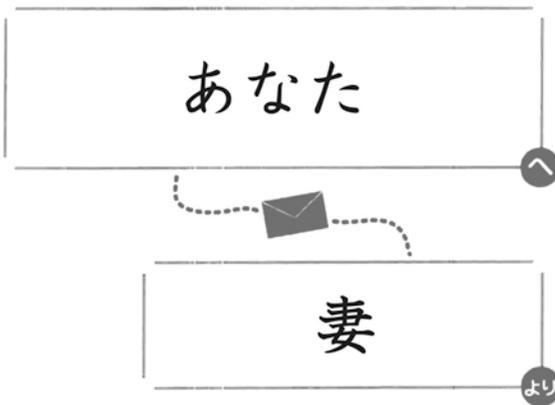
ともかく、私たち夫婦に、楽しい時間をお与えいただき深く感謝しております。

## 審査員からのコメント

数多く寄せられた応募作品の中でも、おやつと目を引いたこちら。妻からの、なんともユニークなラブレターとなっています。ともに歳を重ね、かけがえのない相手のすべてを愛おしく思えるなんて本当に幸せですよ。そう、この「水」は愛なんです。でも「愛」とはせずに「水」にした豊かな表現力はお見事。そのセンスの良さで、四十八年間の結婚生活も彩りあるものになさってきたのではないかとお察しします。「水」という漢字は、「流れている水」の象形なのだそうですね。まさしく、妻から夫への愛が絶え間なく注がれているのでしょう。(やすみりえ)

大角 輝代さん

(大阪府・教員)



この漢字をあなたに贈ります。

解

腫瘍が見つかった。不安なまま検査結果を聞きにいった帰り、「大丈夫だったよ」とメールをしたら、あなたからの返事は「了解」。仕事が終わって帰るコールをしなくても「了解」。いつもこの2文字しか返信してこないあなたが、いつだって私を思い、家で笑顔で待っていてくれている。無駄に多くは語らないあなたの本当のやさしさを、私は「解」かっているからね。

## 受賞コメント

この度はすばらしい賞をいただき、ありがとうございます。

昨今は手紙ではなく、メールを使う事が多く、非難されがちです。もちろん手書きの温かさはありませんが、その場で瞬時にやりとりができることに助かることもあります。

病院へ行くその日はさすがに不安で、結果を受けての帰り道に、家にたどり着くまでにメールをしました。いつも何気なく返ってくる、短い「了解」の文字が、言葉を尽くすことよりも普段通りの愛情で応えてくれたやさしさに、安心したことを覚えています。

この受賞を機に一層互いを理解しあえる関係を築いていきたいと思えます。

## 審査員からのコメント

ちよっぴりぶっきらぼうな「了解」の一言。文字だけを目にするのと確かにそんなふうに感じます。でもその向こうにいる夫の表情や声を想像して受け止めると、にわかには素敵な言葉に変わるのですね。この部門にびつたりの、夫婦の繋がりや味わうことができました。メールでのやりとりは、時に誤解も生じ易いもの。相手の思いを理解しようとする心の余裕がなければなりません。不安な気持ちや日々の疲れを癒やしてくれるいつもの言葉……。この作品には、夫婦のあたたかな愛が溢れています。(やすみりえ)

久保田 洋二 さん

(茨城県)

小学一年時の担任の先生

私

この漢字をあなたに贈ります。

丸

私が小学一年生の時でした。まだ作文が書けなかったのです。文章になっていない作文でしたが、先生は一箇所だけに三重丸をしてくれたのです。誉めるところを探してくれたのです。その三重丸を付けてくれた箇所は『な』の文字だったのです。その後、もっと多く三重丸をもらおうと勉強をしました。その三重丸は何事においても、私の励みになりました。人を見る時も、いい面を探そうとする人間になりました。

## 受賞コメント

『丸』を選んでいただき、ありがとうございます。先生からの、たった一つの文字『な』への三重丸が、出来の悪かった小学一年生の私に元気を与え、やる気を起こさせて、生き抜くことができたことを、世の中の先生方に知ってもらいたい。

先生だけでなく、世の中の多くの人の目に触れればいいと思っています。

人と接するときには、できる限り、相手のいい面を見つけることを心がけるようにしています。

その根底には、小学一年生での『丸』が頭のどこかで、常にうごめいているからだと思います。

人と人が顔を合わせて暮らす社会ではいろんな場面で『丸』が必要になってくるのです。

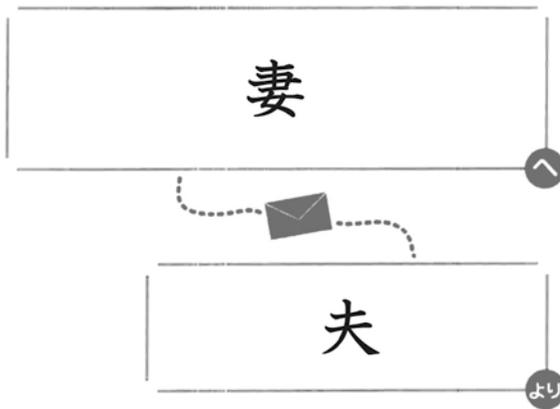
『丸』を付けたり、付けられたりして、これからも生きていきたい。

## 審査員からのコメント

六十年前の出来事をつい最近の事のように想い出され、この文面から小さな一年生が三重丸をつけてもらったことで俄然やる気を出して勉強している姿が目につります。小さな子供をやる気、元気にさせたのは、先生の人間味ある本物の優しさではないでしょうか。誉めるところを探し、この方の人生の励みになり、人のいい面を探し出す大人に成長させたのは、人と人との縁ですね。「丸」は「円」、円満、満月、望月のことです。誉めるの「ほ」は穂(秀)、傑出して秀れていると認める意味。この話を知って、人生丸もうけます。命(ゴルゴ松本)

小林 憲彦さん

(京都府・会社員)



この漢字をあなたに贈ります。

騙

結婚する前に付き合っていた彼女が作ってくれたお弁当がとてもとても美味しくて、この彼女と結婚しようと思った瞬間でした。この1年後に結婚しました。結婚した後にあの時のお弁当の話になり、カミングアウトがありました。実は、あのお弁当は彼女のお母さんが作ったものだったのです!「騙された!」あれから20年経ちましたがあの時のお弁当に勝る美味しいものを作ってくれます。あの時、騙されて幸せになりました。

## 受賞コメント

妻との思い出を応募させていただきましたところ、大変すばらしい賞をいただき、感謝申し上げます。また、授賞式には所用により参加できないこと、お詫び申し上げます。

受賞の通知が届いた時のエピソードをお伝えさせていただきます。

受賞の通知が届いたときに、早速、妻に報告しましたところ、受賞報告に対しましては大変喜んでくれました。ただ、応募内容を伝えた後には嫌な顔という、半分半分のリアクションがもらえました。

この受賞により、応募内容の続きに受賞という事実が加わり、今後も仲良くやってくため大切な思い出が、また一つできました。ありがとうございました。

## 審査員からのコメント

手作り弁当のエピソードに、「騙」がうまく合わさった作品でした。結婚して二十年経った今、美味しいお料理を作ってくれる妻への感謝の気持ちが進められていますね。私はそれに加えて、お弁当を代わりに作ってくれたお母様にも興味がわきました。とても優しく愛情深い人なのでしょ。だって、娘が恋人へ渡すためのお弁当作り。知らん顔しておいたっていいのに、おぼつかない姿を見兼ねて手伝ってくれたわけですから・・・。とにもかくにも、こんな愛のある「騙」なら微笑ましく感じられます。(やすみりえ)

椿 幸枝さん

(山口県・学校司書)

お母さん



末娘

この漢字をあなたに贈ります。

牛

うし年でもある貴女は、家族の元気の源である美味しい料理を作る(乳を与える)乳牛であり、朝から晩まで働く農耕牛であり、大切な私たちを守るために時には闘牛となり、自身を省みず尽くし身を削る姿は肉牛を彷彿とさせました。うさぎ年の私を、その大きな体の下に守ってくれました。何歳になっても「モォ〜!」と怒らせてばかりですが、そろそろ牧場でゆったりとお昼寝するうしちゃんにさせてあげたいです。いつも有難う。

## 受賞コメント

私は奇しくも、祖母が亡くなった同日、この世に生を受けました。

母は、母親を失った哀しみを背負いながら、新しい命を授かった喜びを胸に抱き、慈しみ育ててくれました。

母親の深い愛情にかなう言葉はありませんが、感謝の思いをちよっぴり照れて茶化し、贈りました。

現在、私は学校図書館に勤務しています。活字離れが進んでいると言われる昨今です。未来ある子ども達に、漢字の奥深さやことばの持つ力について伝えることが出来るよう、受け継がれた命を「モー」レツに燃やし日々を過ごしています。

このような素晴らしい賞をいただき大変光栄です。有難うございました。

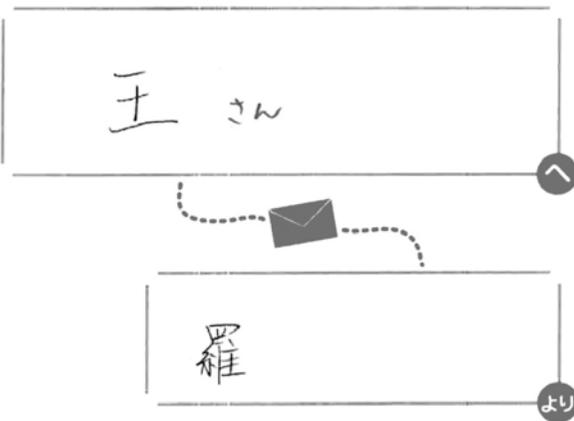
## 審査員からのコメント

二人の娘の父親としていつも反省していることがありません。父親は外で働いているという一人一役ですが、母親は一人で何役もこなしているということですが、そのことを「牛」に例えて見事に表現していただきました。そこには子どもの成長を願い、髪を振り乱して毎日奮闘している母の姿があります。それなのに、実の母親がいたいけなわが子を虐待する事件が後を絶たないのはどうしてなのだろうと思っ  
てしまいます。何から始めればいいのかと考えるだけでも  
ざるを得なくなるのです。(橋本五郎)

# 羅 皓 潔 さん

(長崎県・長崎外国語大学)

この漢字をあなたに贈ります。



大学で知ってからもう三年になりました。王雅は私の心の中でもう一番大切な人になりました。いつも仲良しで、ケンカもあまりなくて、ずっとなんか毎日一緒に楽しく過ごしました。「珍」は「珍らしい」の意味だけではなく、中国語では「大切に守る」の意味もあります。いつも私を大切にしてくれて、ありがとうございます。私もこれから王雅を大切にします。いつも側にいてくれて、ありがとうございます。これからもよろしくね。愛してる。

## 受賞コメント

このたびは、第五回審査員賞に選出していただき、本当にありがとうございます。指導してくださった先生や親友のお蔭で、初めてこのような素晴らしい賞を頂いて、とても感激しております。留学生活の中で良い経験になりました。漢字は日本語でも中国語でも重要な存在です。一文字でも大切な人に自分の気持ちを伝えることができますと思います。また、今回の受賞をきっかけに親友との絆も深めることができました。今後、この経験を活かして日本語をもっと頑張つて勉強しようと思いません。

## 審査員からのコメント

今まで単純に「めずらしい」という言葉を使ってきました。今回改めて調べてみたところ、たくさんの意味がありました。「貴重」「類がない」「すぐれている物」「ゆえに」「たつとぶ」「重んずる」「愛する物」「美しい」。「珍」とは、容易く手に入らない玉のことなんです。密度が高く満ちたりている玉のこと。珍品、珍重、珍事、珍客、珍妙、珍獣、珍味、すべて愛すべきコトやモノなんです。文章の最後に「愛してる」。ズドンと伝わってきます。美しい!!この漢字は私にとって「珍発見」でした。命（ゴルゴ松本）

遊

【贈りたい相手】

自分

【贈り主】

自分

浅野 萌さん

(埼玉県・会社員)

大人になって、月曜日から金曜日まで仕事して、土日は疲れて寝てるだけ。たまに友達とランチ、飲み会、そしてテレビや映画を見る。でも何かが違う、物足りなくて体が疼く。…遊びたい。自分の好奇心に忠実に遊びたい。あの小道に入って冒険がしたい。変な虫を捕まえたいし、鬼ごっこがしたい。早く退社できたときに見る夕焼けと、耳に入る子供の楽し気な声を聴いて胸がきゅっとなる。ただそれだけです。

上

【贈りたい相手】

父

【贈り主】

みき

岩中 幹夫さん

(岡山県・公務員)

大好きなお寿司を食べるとき、子供には「上」を食べさせて、自分は「並」を頼んでいた亡き父。これこそ「上」の愛情だったのではないかと思いついて出されます。

穩

【贈りたい相手】

妻よりこ

【贈り主】

夫かずき

奥井 一幾さん

(兵庫県・研究者)

ただいま夫婦喧嘩中。ここところ、ろくに会話をしていない。君は、喧嘩なんてふっかけるような性格ではない。考えてみたら、僕自身のことでもうなっている。それなのに、なかなか素直に謝ることができない。そんな時、「穩やか」という字の中に君の名前をみつけた。君の穩やかさについても支えられていることに気がついた。本当にごめんね。いつもありがとうね。今夜、素直に謝ります。



【贈りたい相手】

夫

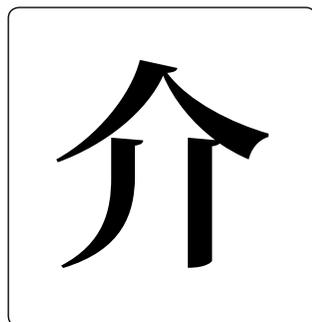
【贈り主】

妻

## 工藤 純子 さん

(北海道・主婦)

2歳の時に父を亡くした夫は、「さっさと死んだ勝手な奴」と父を呼ぶ。だけど前に遺影を見ながら「あなたにそっくりだね」って言った時の嬉しそうなお顔、私が見逃してるとでも思った？ 同じく父となったあなたを見ていれば分かる。あなたのお父さんが、とっても素敵なお父さんだったって事。



【贈りたい相手】

夫 潤

【贈り主】

妻 有美

## 小松崎 有美 さん

(埼玉県・主婦)

介護一筋で勤続13年を迎えるあなた。お給料も世間的には低く時には引つ掻き傷をつくって帰ってくる。それでもあなたは「人生の帰り道に寄り添えるなんて最高」と言う。胸を張ってそう言えるあなたを私は尊敬しています。ツンデレの私だから面と向かって言えないけれど、あなたのおかげで私も誰かの帰り道に寄り添いたい、それがあなたであればいいと思います。



【贈りたい相手】

中学の恩師 青木先生

【贈り主】

教え子 高橋

## 椎野 美香 さん

(神奈川県・主婦)

卒業式の日、先生がクラスの生徒にくれたカセツトテープ。私宛の言葉は40を過ぎた今でも私の心にいつもあります。「あなたは心の白い人です。周りのどんな色にも染まれる柔軟な優しい気持ちで、これからも誰かの気持ちに寄り添ってあげてください。」今は天国にいる先生。先生が私を白に染めてくれたんですよ。本当にありがとうございます。

【贈りたい相手】

父

【贈り主】

娘

末吉 浩子さん

(京都府・主婦)

脳梗塞で倒れて3年。右半身はダメになったけど、左があるね。半分残っているね。左手で色々できるようになったね。辛かったでしょう。苦しかったでしょう。悔しかったでしょう。でも、生きていてくれてありがとう。

【贈りたい相手】

お母さん(書道の先生)

【贈り主】

娘(教員)

杉村 佳帆里さん

(静岡県・教員)

「漢字」というと、小学生の時の漢字ノートを思い出します。書道の先生である母は、毎日漢字ノートをチェックし、美しい文字の書き方を教えてくれました。幼い時から書くことに向き合ってきたおかげで、教員になった今でも、堂々と黒板に字を書くことができます。「美しい文字は、一生の宝」。忙しい中、私の漢字ノートを見てくれたお母さん、ありがとう。

【贈りたい相手】

ネガティブな自分

【贈り主】

ポジティブな自分

諏訪 麻美さん

(岡山県・主婦)

何か一つ足せば、何か変わるかもしれない。「辛いつて文字だって」「一」を足せば「幸せ」になるし、少し変則的かもしれないけど「二」に「一」を足せば「三」にも「十」にだってなるかもしれない。「一」は「はじめ」でもあるんだから、まず小さくても後ろ向きでも一歩踏みださない？「無理しないで」の甘えから一歩、出てみようよ。

高

【贈りたい相手】

夫

【贈り主】

妻

高野 亜衣子 さん

(神奈川県・会社員)

あなたはいつも高みを目指して頑張っている。傲ったりしない。同じ職についていて、いつもあなたを見ているけれど、本当に尊敬している。(くやしいから言葉にしたことはないけど。) 私も一緒に高みを目指したい。研究職である私達で、世界で一番の物を作りたい。これからも、一緒に沢山学んで、沢山競って、共に仲良く高みを目指したい。

永

【贈りたい相手】

亡き妻

【贈り主】

夫

武市 善明 さん

(徳島県・公務員)

君が26歳の若さで逝ってもう30年。乳飲み子だった子供たちは、それぞれ良き伴侶を得て幸せに暮らしている。僕は、もうじいじになってしまったけれど、君は永遠に26歳のまま、僕の心の中に生きていく。

癒

【贈りたい相手】

妻

【贈り主】

夫

田島 英和 さん

(東京都・教員)

いつも仕事お疲れ様。あなたは昔から感情が豊かで、怒ったり、笑ったり、悲しんだりがストレートに伝わってきます。でも、私にとってはどんな時のあなたでも、あなたを見るだけで心が安らぐ「癒やし」です。

語

【贈りたい相手】

大好きな中学校の国語の先生

【贈り主】

教え子

龍田 優さん  
(三重県・教員)

辻先生、お元気ですか。先生は中学生だった私に、言葉（日本語）の美しさ、漢字の面白さ、日本という国や文化について語ってくれました。先生に教わった3年間で今の私をつくる大きな転換点となりました。先生の背中を追いかけて10年。今では私が国語を教える立場になりました。大好きだったあの授業を、頑張つて再現できるように、今日もあの頃の友だったポロポロの便覧とともに授業作りに励みます。

追

【贈りたい相手】

人生の師

【贈り主】

ひよっこ教師

百々 進祐さん  
(愛知県・教員)

この「追」が先生の家に届いても、先生の目に触れることはないかもしれないね。あんなに強く、知識人の先生が病に伏すなんて、今でも信じられません。出会った日から先生のことを、ずっと追いつけています。「勇往邁進」先生から学んだ生き方です。

学

【贈りたい相手】

自分

【贈り主】

自分

中井 朗さん  
(福岡県・教員)

教師三年目を迎えたあなた。理解させたい内容、身に付けさせたい内容ばかりで頭いっぱいなのあなた。「学」ぶという字の中心は「子」どもたちです。目の前のいろいろな個性のある「子」どもが主役ということをお忘れずに、今日も教室に向かいます。

# 無

【贈りたい相手】

夫 勇人

【贈り主】

妻 美由

## 西村 美由さん

(大阪府・栄養士)

9年付き合っていて、ようやく同じ名前になった。周りの人に、「長い間付き合っていて、別れることなかったの？」って聞かれたとき、夫は「別れる理由が無い」って答えたみたい。好きなどころを並べられるより、この「無い」が何倍も嬉しかった。そうやって、遠回しに気持ちを伝えてくれるところが大好きです。

# 借

【贈りたい相手】

あゆちこ

【贈り主】

ぼく

## 村井 庸佑さん

(香川県・教員)

5年前に出会って、今日まで仲良くしてもらえて幸せです。結婚を前提にお付き合いしてきましたが、そろそろどうでしょう？ともに同じ大学で、ともに同じ職種で。そろそろ、ともに同じ名字にしましょう。借老同穴、比翼連理。これからも仲良く、そして温かい家族になりましょう。

# 褒

【贈りたい相手】

妻 順子

【贈り主】

夫 和史

## 吉田 和史さん

(岐阜県・会社員)

息子のテストの成績を褒めていたら、となりで妻が一言、「たまには私も褒めてよ」。たしかに、結婚して20年、ほとんど褒めたことがありません。家事に、育児に頑張る妻に、一言、「頑張っているね。ありがとう」といいたいのですが、面と向かっては恥ずかしいので、まずはメッセージにして贈ります。

# コンテストは広がりを見せ、 「学校教育」にも採用

“誰かに贈る漢字を選ぶ”その時間は、  
漢字そのものの奥深さに触れられるとともに、  
自分の大切な人との関係を見つめ直し、  
自分自身と向き合うことにもつながります。  
その点が高く評価され、  
学校教育の題材として取り上げられるようになりました。

今後、「大切な人へ漢字を贈る」ということが、私たちにとって  
より身近な習慣になる日も近いかもしれません。



「どうとく3 きみが いちばん ひかるとき」(光村図書出版)

## 「漢字に思いをこめて」にこめた思い

私は、漢字コンテストの作品を読みながら、  
「漢字って、こんなに表情豊かになるんだ——。」と、ワクワクしました。  
「待」からは、「おかえり。」の温かさを感じたり、  
「遊」からは、兄弟の楽しそうな笑顔が浮かんできたりしました。

私は、「教科書に掲載したい!」と思いました。  
この題材なら、子どもたちが家族への思いを、楽しく、深く見つめられる。  
この題材なら、家庭環境が一人一人ちがう子どもたちが、  
伝えたい相手に思いを伝えられる優しい教材になる。  
そう考えたからです。

授業を終えた後、  
贈った漢字が、子どもたちと家族の宝物になればいいなあと願っています

光村図書出版 担当者

## 第6回「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」応募要項

応募期間	2018年6月1日(金)～2018年9月14日(金)消印有効
発表	2019年1月(予定) 入賞作品は、応募者氏名などとともにコンテストサイト等にて発表する予定です。
応募テーマ	<b>「贈りたい漢字とメッセージ(※120字以内)」</b> あなたが伝えたい気持ちを表す漢字(一文字)とメッセージをお寄せください。
応募部門	①小学生部門      ②中学生部門 ③高校生部門      ④大学生・一般部門
応募方法	<p>■個人での応募 【Web】コンテストサイト(下記URL)にある応募フォームを利用してください。 【郵送】所定の応募用紙、もしくはコンテストサイトよりダウンロードした応募用紙を利用して、下記応募先へ郵送してください。また、応募用紙取得が困難な方は、必要事項記載のうえハガキでの応募も可能です。</p> <p>■団体での応募 応募者全員分の用紙をまとめ、「団体名」「団体担当者氏名」「住所・電話番号(会場番号)」を添えて下記応募先へ郵送してください。必要分の応募用紙と返送用封筒を送付いたしますので下記お問い合わせ先へご連絡ください(応募用紙はコピーしていただいても構いません)。</p> <p>※抽選で団体応募プレゼントが当たります。 抽選は応募団体単位で行い、プレゼントは当選団体の応募人数分をお送りいたします。当選団体の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>応募の際の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージは120字以内に限りませす。</li> <li>・これを超える応募作品につきましては審査対象外となります。</li> <li>・応募いただいた作品は返却できません。</li> </ul> </div>
応募先	<p>■Webでの応募 URL <a href="http://www.kanken.or.jp/kanjicontest2018/">http://www.kanken.or.jp/kanjicontest2018/</a></p> <p>■郵送での応募 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地 (公財)日本漢字能力検定協会 「今、あなたに贈りたい漢字 コンテスト」係</p>
審査	主催者および審査員が、本コンテストの開催趣旨に照らし総合的に審査します。 入賞者には審査後に受賞の内定を通知いたします。
審査員	<p>審査員長 橋本五郎   審査員 ゴルゴ松本   審査員 やすみりえ   審査員 華雪 (読売新聞特別編集委員)   (お笑い芸人)   (川柳作家)   (書家)</p>
表彰	<p>絆大賞(4点) ..... 賞状・副賞(5万円相当)</p> <p>日本漢字能力検定協会賞(4点) ..... 賞状・副賞(3万円相当)</p> <p>審査員賞(12点) ..... 賞状・副賞(1万円相当)</p> <p>佳作(40点) ..... 賞状・副賞(5千円相当) 副賞:ギフトカード、図書券など</p>
表彰式	2019年3月
表彰式会場	公益財団法人 日本漢字能力検定協会 京都本部 漢検 漢字博物館・図書館(漢字ミュージアム)
お問い合わせ先	
<p>公益財団法人 日本漢字能力検定協会</p> <p> 0120-509-315(無料) 受付時間 月～金 9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)</p> <p>(コンテストサイト) <a href="http://www.kanken.or.jp/kanjicontest2018/">http://www.kanken.or.jp/kanjicontest2018/</a></p>	

## 「今、あなたに贈りたい漢字 コンテスト」 2017年度 受賞作品集

---

2018年 6月1日 第1版第1刷発行

編者 公益財団法人日本漢字能力検定協会  
発行者 高坂 節三  
印刷所 大日本印刷株式会社  
発行所 公益財団法人日本漢字能力検定協会  
(住所) 〒605 - 0074  
          京都市東山区祇園町南側 551 番地  
(TEL) 075 - 757 - 8600  
(FAX) 075 - 532 - 1110  
(ホームページ URL) <http://www.kanken.or.jp>

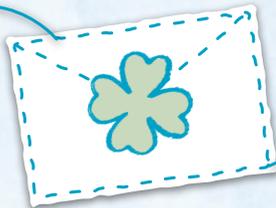
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

「漢検」は登録商標です。

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。



あなたへ



わたしより

今、あなたに贈りたい漢字 コンテスト

2017年度

## 受賞作品集

「漢検」は登録商標です。